

大山崎町公共施設に関する町民アンケート調査

報 告 書

平成 28 年 3 月

目 次

1. アンケート調査の概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 実施の状況.....	1
2. 集計結果(単純集計).....	2
(1) 今後の公共建築物・インフラのあり方についての設問.....	2
(2) 公共建築物の利用状況についての設問.....	6
(3) 回答者の属性についての設問.....	11
3. 集計結果(クロス集計).....	14
(1) 公共建築物の整備のクロス集計(問3).....	14
(2) インフラ資産(道路、橋りょう、上下水道)の整備のクロス集計(問4).....	16
4. 資料(アンケート調査配布資料).....	18

1. アンケート調査の概要

(1) 調査の目的

全国的にも公共施設等の老朽化が課題となる中、本町においても公共施設等の維持更新などに必要な経費は将来的に増加し、この公共施設等にかかる経費の確保が大きな課題となることが予想されます。将来的な財政負担の軽減や健全な町民生活の維持を図るためにも、公共施設等にかかる総合的な管理の検討が必要となっています。

公共施設等全体を把握し、公共施設等の機能を適正に維持しつつ、また、将来の需要に柔軟に対応し、次世代の町民への負担を出来る限り軽減する効率的・効果的な公共施設等の管理の基本方針を明確にした公共施設等の最適な管理を行うための計画の作成を行っています。

このアンケートは、計画の作成にあたり、公共施設等に関する町民の意見を収集、分析を行い、町民の公共施設等に関する意識の把握を行うために実施したものです。

(2) 実施の状況

アンケートの実施状況は以下の通りとなっています。

配布数・対象	大山崎町内 18 歳以上を対象に 1,500 票配布
実施時期	平成 27 年 11 月 24 日発送 12 月 25 日回収締切
発送・回収方法	郵送による発送・回収
回収状況	総回収票数 659 票 回収率 43.9%

2. 集計結果（単純集計）

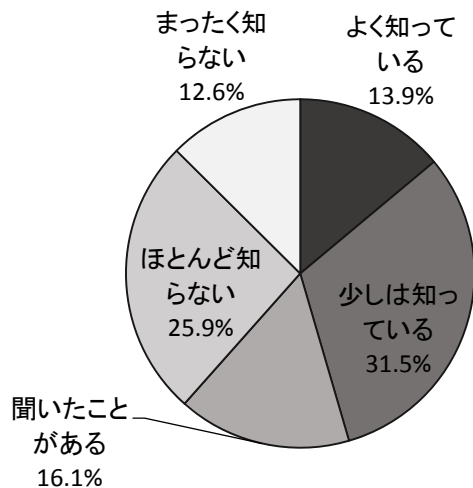
以下に各設問の集計結果を整理します。

なお、集計結果として整理していますグラフや表に表示された割合（％）は、端数処理の関係で合計値が 100（％）にならない場合があります。

(1) 今後の公共建築物・インフラのあり方についての設問

【問 1】 大山崎町の人口は今後減少し、2040 年には現在の約 2 割減となることが推定されています。人口減少とともに町財政も厳しくなっていくと想定されますが、あなたはこのことを知っていましたか。（1つに○）

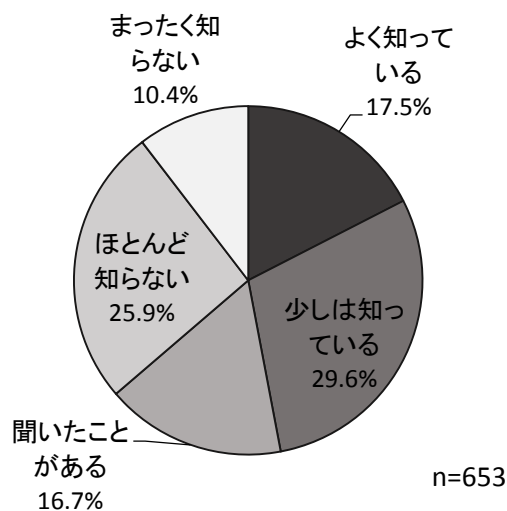
○「少しは知っている」（31.5％）が最も多く、次いで「ほとんど知らない」（25.9％）となっています。



選択肢	回答数	割合
1 よく知っている	91	13.9%
2 少しは知っている	206	31.5%
3 聞いたことがある	105	16.1%
4 ほとんど知らない	169	25.9%
5 まったく知らない	82	12.6%
有効回答数	653	100.0%
無回答	6	-
合計	659	-

【問 2】 近い将来、町内の多くの老朽化した公共施設が大規模な改修や建て替えを行う時期を迎えています。一方で自治体の財政は厳しく、すべての施設の更新をすることは困難な状況にあります。あなたはこのことを知っていましたか。（1つに○）

○「少しは知っている」（29.6％）が最も多く、次いで「ほとんど知らない」（25.9％）となっています。

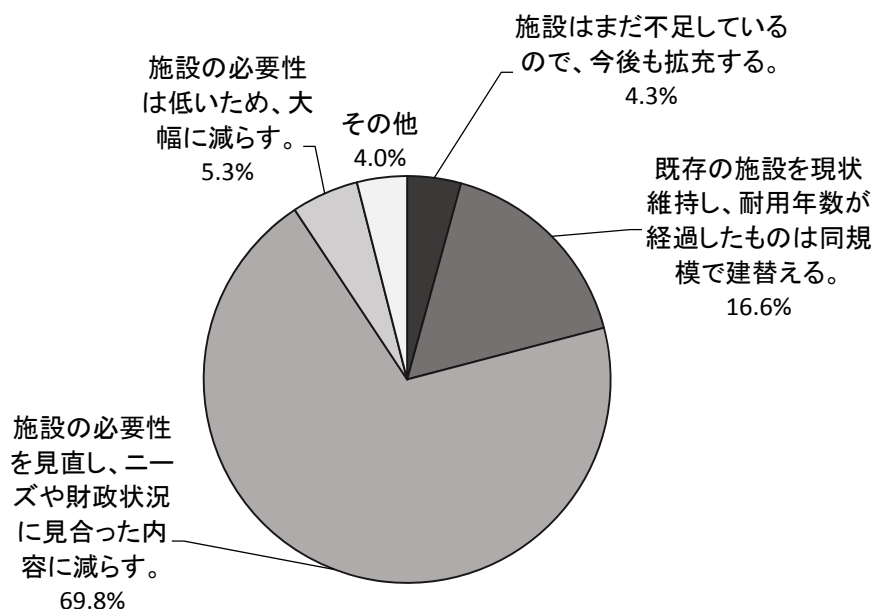


選択肢	回答数	割合
1 よく知っている	114	17.5%
2 少しは知っている	193	29.6%
3 聞いたことがある	109	16.7%
4 ほとんど知らない	169	25.9%
5 まったく知らない	68	10.4%
有効回答数	653	100.0%
無回答	6	-
合計	659	-

【問3】将来的な見通しを踏まえて公共建築物の整備については、今後どのように進めていくべきだと思いますか。（1つに○）

○「施設の必要性を見直し、ニーズや財政状況に見合った内容に減らす。」(69.8%)が最も多く、次いで「既存の施設を現状維持し、耐用年数が経過したものは同規模で建替える。」(16.6%)となっています。

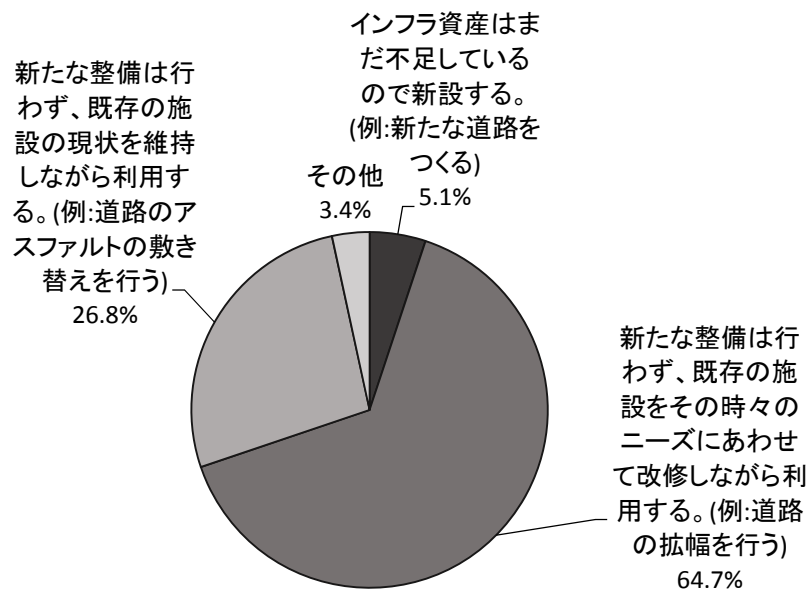
選択肢	回答数	割合
1 施設はまだ不足しているので、今後も拡充する。	28	4.3%
2 既存の施設を現状維持し、耐用年数が経過したものは同規模で建替える。	109	16.6%
3 施設の必要性を見直し、ニーズや財政状況に見合った内容に減らす。	457	69.8%
4 施設の必要性は低いため、大幅に減らす。	35	5.3%
5 その他	26	4.0%
有効回答数	655	100.0%
無回答	4	-
合計	659	-



【問4】将来的な見通しを踏まえてインフラ資産（道路、橋りょう、上下水道）の整備については、今後どのように進めていくべきだと思いますか。（1つに○）

- 「新たな整備は行わず、既存の施設をその時々ニーズにあわせて改修しながら利用する。」（64.7%）が最も多く、次いで「新たな整備は行わず、既存の施設の現状を維持しながら利用する。」（26.8%）となっています。

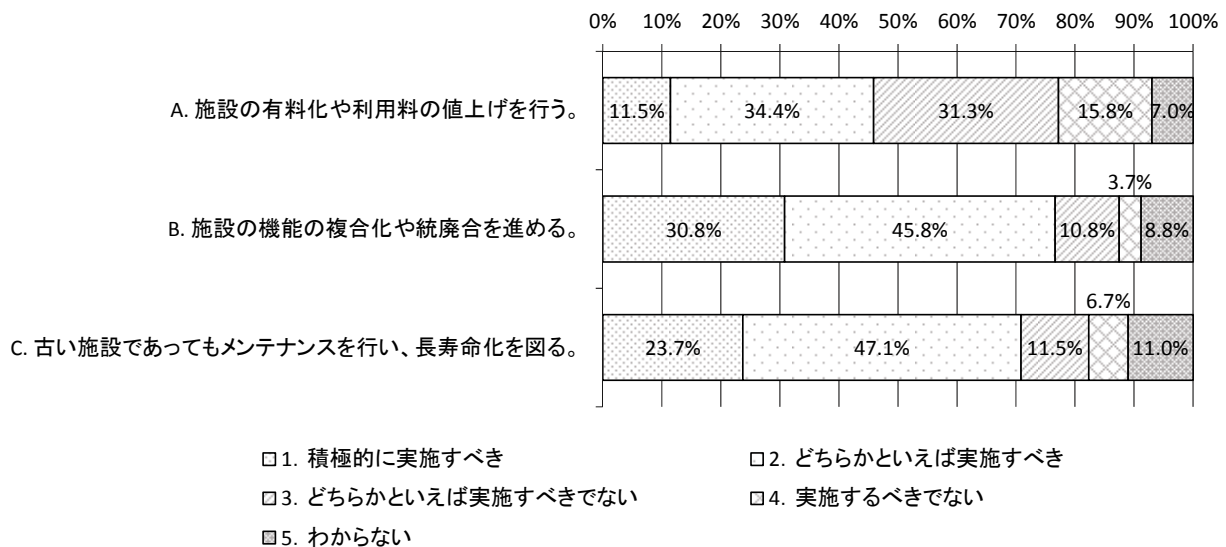
選択肢	回答数	割合
1 インフラ資産はまだ不足しているので新設する。(例:新たな道路をつくる)	33	5.1%
2 新たな整備は行わず、既存の施設をその時々ニーズにあわせて改修しながら利用する。(例:道路の拡幅を行う)	420	64.7%
3 新たな整備は行わず、既存の施設の現状を維持しながら利用する。(例:道路のアスファルトの敷き替えを行う)	174	26.8%
4 その他	22	3.4%
有効回答数	649	100.0%
無回答	10	-
合計	659	-



【問5】公共建築物・インフラ資産の更新費用の増大が予測される中で、更新費用の縮減のほかに、新たな取り組みを検討する必要があります。施設を維持するために実施すべきこととして、次に掲げる3つの方策についてどう考えますか。(各々1つに○)

○「施設の機能の複合化や統廃合を進める。」と「古い施設であってもメンテナンスを行い、長寿命化を図る。」は重要度が「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」と回答した人が約8割を占め、「施設の有料化や利用料の値上げを行う。」は重要度が「どちらかといえば実施すべきでない」「実施すべきでない」「わからない」と回答した人が約5割となっています。

	1. 積極的に実施すべき		2. どちらかといえば実施すべき		3. どちらかといえば実施すべきでない		4. 実施するべきでない		5. わからない		有効回答数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
A. 施設の有料化や利用料の値上げを行う。	74	11.5%	222	34.4%	202	31.3%	102	15.8%	45	7.0%	645
B. 施設の機能の複合化や統廃合を進める。	199	30.8%	296	45.8%	70	10.8%	24	3.7%	57	8.8%	646
C. 古い施設であってもメンテナンスを行い、長寿命化を図る。	153	23.7%	304	47.1%	74	11.5%	43	6.7%	71	11.0%	645

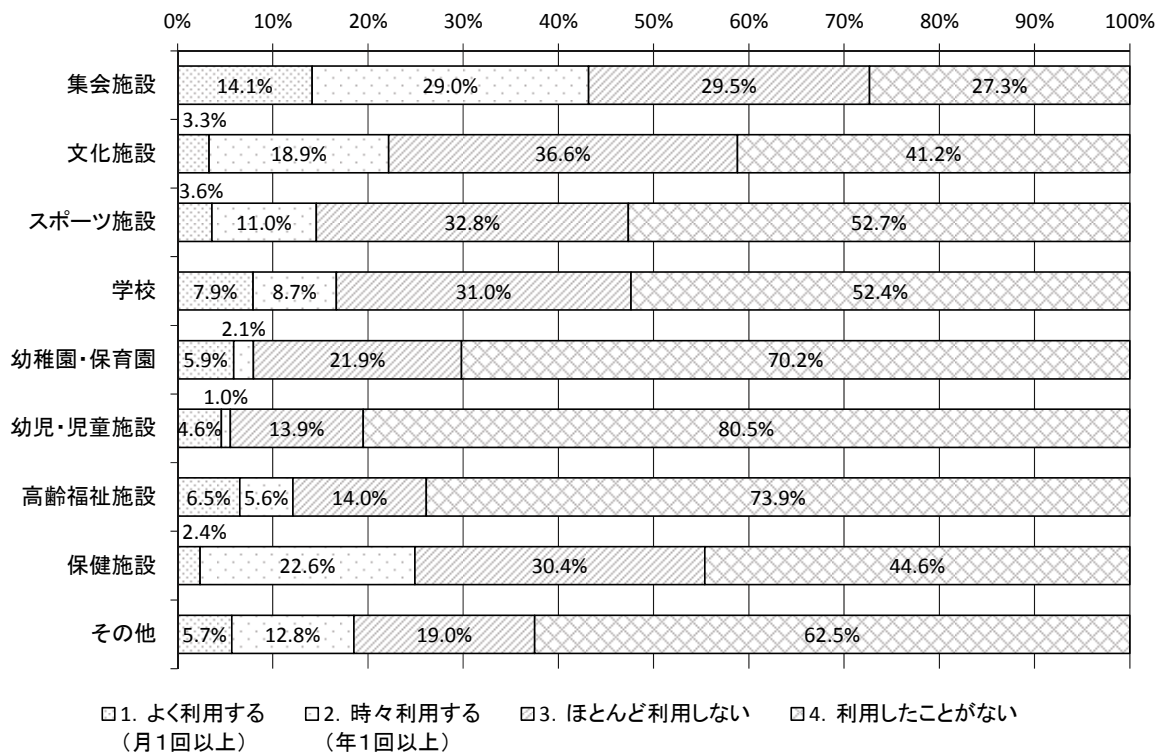


(2) 公共建築物の利用状況についての設問

【問6-1】あなたは次の公共建築物をどのくらい利用していますか。利用頻度を施設分類ごとに1つ選択してください。

○「集会施設」は「よく利用する」「時々利用する」との回答が約4割を占めており、その他の施設は「ほとんど利用しない」「利用したことがない」との回答が8割以上を占めています。

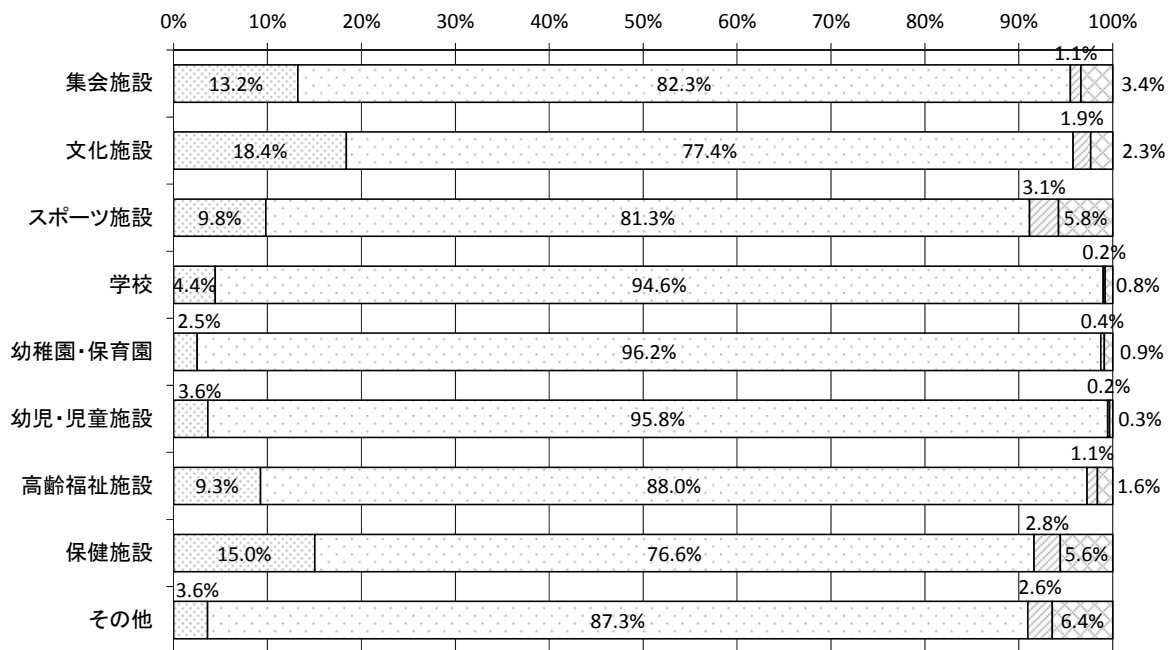
施設分類	選択肢	1. よく利用する (月1回以上)		2. 時々利用する (年1回以上)		3. ほとんど利用しない		4. 利用したことがない		有効回答数
市民文化系施設	1 集会施設	91	14.1%	187	29.0%	190	29.5%	176	27.3%	644
	2 文化施設	21	3.3%	120	18.9%	233	36.6%	262	41.2%	636
スポーツ・レクリエーション施設	3 スポーツ施設	23	3.6%	70	11.0%	209	32.8%	336	52.7%	638
学校教育系施設	4 学校	50	7.9%	55	8.7%	195	31.0%	330	52.4%	630
子育て支援施設	5 幼稚園・保育園	37	5.9%	13	2.1%	137	21.9%	440	70.2%	627
	6 幼児・児童施設	29	4.6%	6	1.0%	88	13.9%	508	80.5%	631
保健・福祉施設	7 高齢福祉施設	42	6.5%	36	5.6%	90	14.0%	475	73.9%	643
	8 保健施設	15	2.4%	143	22.6%	193	30.4%	283	44.6%	634
その他	9 その他	36	5.7%	81	12.8%	120	19.0%	395	62.5%	632



【問6-2】また、利用頻度について「3. ほとんど利用しない」、「4. 利用したことがない」と回答された施設分類については、その代表的な理由を1つ選択してください。

○利用しない代表的な理由は、すべての施設で「利用する必要がない」が最も多く、次いで「施設の存在やサービス内容を知らない」、「県や他市の施設を利用している」の理由が多くなっています。

施設分類	選択肢	1. 施設の存在やサービス内容を知らない		2. 利用する必要がない		3. 施設、サービス、利用時間、料金などが不満		4. 県や他市の施設を利用している		有効回答数
市民文化系施設	1 集会施設	47	13.2%	292	82.3%	4	1.1%	12	3.4%	355
	2 文化施設	87	18.4%	366	77.4%	9	1.9%	11	2.3%	473
スポーツ・レクリエーション施設	3 スポーツ施設	51	9.8%	423	81.3%	16	3.1%	30	5.8%	520
学校教育系施設	4 学校	22	4.4%	471	94.6%	1	0.2%	4	0.8%	498
子育て支援施設	5 幼稚園・保育園	14	2.5%	533	96.2%	2	0.4%	5	0.9%	554
	6 幼児・児童施設	21	3.6%	552	95.8%	1	0.2%	2	0.3%	576
保健・福祉施設	7 高齢福祉施設	51	9.3%	485	88.0%	6	1.1%	9	1.6%	551
	8 保健施設	70	15.0%	357	76.6%	13	2.8%	26	5.6%	466
その他	9 その他	18	3.6%	435	87.3%	13	2.6%	32	6.4%	498

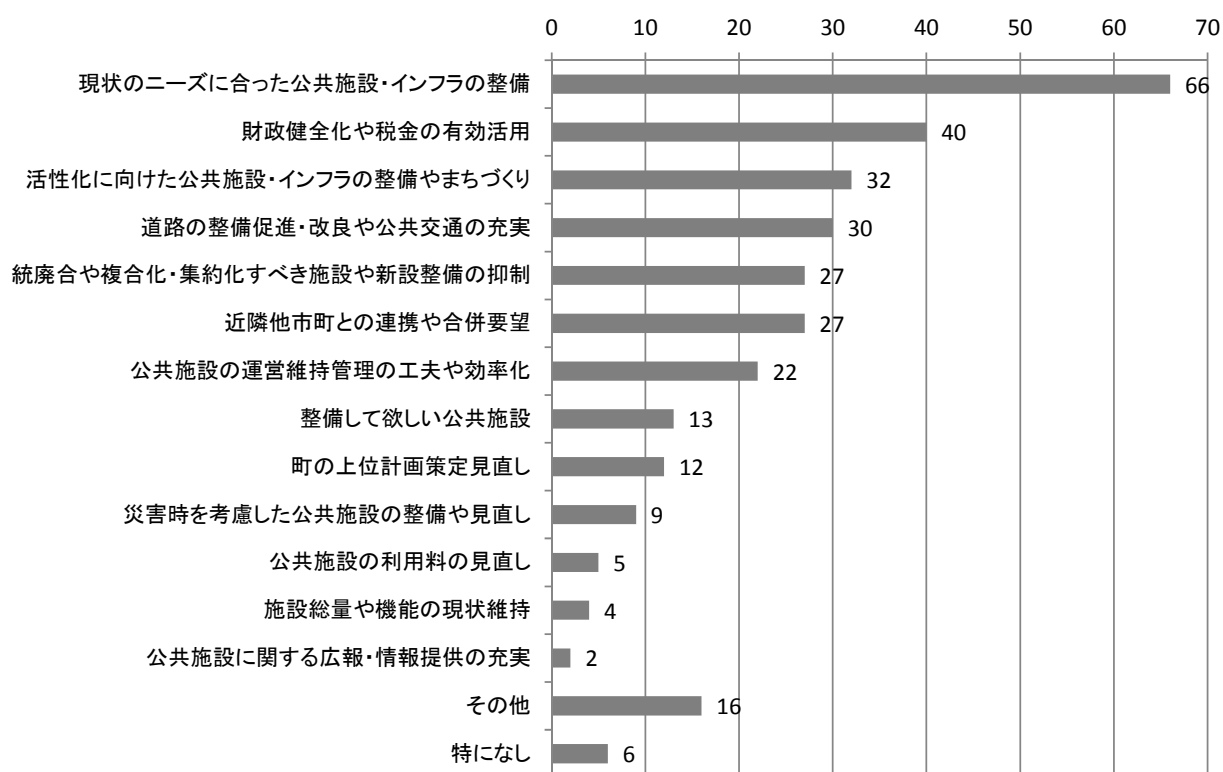


1. 施設の存在やサービス内容を知らない 2. 利用する必要がない
 3. 施設、サービス、利用時間、料金などが不満 4. 県や他市の施設を利用している

【問7】公共建築物・インフラ資産の今後のあり方について、ご意見があればお聞かせください。

○公共建築物・インフラ資産の今後のあり方についての自由回答は 244 名よりご意見が寄せられました。最も多かったご意見は、「現状のニーズに合った公共施設・インフラの整備」(66件)に関するものでした。次いで、「財政健全化や税金の有効活用」(40件)、「活性化に向けた公共施設・インフラの整備やまちづくり」(32件)となっています。なお、複数の項目についてご意見をいただいている場合があるため、回答数の合計と回答者数は一致しません。

項目	回答数
現状のニーズに合った公共施設・インフラの整備	66
財政健全化や税金の有効活用	40
活性化に向けた公共施設・インフラの整備やまちづくり	32
道路の整備促進・改良や公共交通の充実	30
統廃合や複合化・集約化すべき施設や新設整備の抑制	27
近隣他市町との連携や合併要望	27
公共施設の運営維持管理の工夫や効率化	22
整備して欲しい公共施設	13
町の上位計画策定見直し	12
災害時を考慮した公共施設の整備や見直し	9
公共施設の利用料の見直し	5
施設総量や機能の現状維持	4
公共施設に関する広報・情報提供の充実	2
その他	16
特になし	6
回答者数	244
無回答	415



○各項目別に、主な意見を次に示します。

■現状のニーズに合った公共施設・インフラの整備

- 利用状況を調査し一部特定の住民のみ使用しているものは、今後、統廃合や複合化・集約化すべき施設や新設整備の抑制又は廃止、インフラに重点を置いて、整備する必要があると思います。(10歳代~20歳代,男性)
- 必要がある物は残し、必要のない物の検討をしっかりと行うべき。福祉施設は、今後のためにも必須かと思えます。何かを無くす場合は、その利用している内容を他でも出来るようにしてほしいです。(30歳代,女性)

■財政健全化や税金の有効活用

- どうしてもいるものだけを考えて、税金を使って欲しいです。役場などは、人口のわりに大きすぎだと思えますが。役場へ行っても冷房がついていないしすごく暑い夏の時冷房くらいはつけて欲しいです。(40歳代,女性)
- 必要な物を必要な時期タイミングで。予算化を行い、優先度を付けて対応する。優先度は必要に応じて透明性を持って判断過程の見える化を図る必要も有る。(40歳代,男性)

■活性化に向けた公共施設・インフラの整備やまちづくり

- 将来的に財政難であるからといって老朽化にしたままでは、施設の魅力も半減、利用者も減り、ますます人口が減少していくのではないのでしょうか？また、人口より多い観光客に魅力ある町づくり、駅前での活性化にもっと力を入れ、資金を投入しないともったいないと思います。(50歳代,女性)
- 大山崎に転居してきて、3年になります。おもてなしウィーク、ゆひまつり、フードマーケットと、若い人の動きも活発になってきているのではないかと思います。公共物の料金を上げず、イベントを行いやすいようにして、お客さんが来る流れが作れば、観光地としてやっていけるのではないかと思います。その為のお金の使い方を考えられれば良いですね。私も頑張ります！(30歳代,女性)

■道路の整備促進・改良や公共交通の充実

- 今後、必要な時が来ると思いますが、町内の移動(車)では道が狭く大変不便です。学校、役場へ行く時に大変です。(40歳代,男性)
- 小学校の通学路、特に西国街道の道路幅拡張を早急にやって欲しい。車のスピードも早く、歩いて通っていると本当に怖いです。歩いて通られた事がありますか？(40歳代,女性)

■統廃合や複合化・集約化すべき施設や新設整備の抑制

- 難しいですが、例えば公民館の活動・内容を学校施設でも活用する。体育館の活動内容を学校施設で活用し、公民館と体育館の縮小を目指す。小学校の統合も考えるべきではないでしょうか？(70歳以上,男性)
- 高齢者施設、保育所、役場、保健施設、集会所、学校などは空間の共有など統廃合や複合化・集約化すべき施設や新設整備を抑制してスリムになってゆく長期計画をしっかりとて、最終的にそこに引き着くように修理維持しながら改築する。(60歳代,女性)

■近隣他市町との連携や合併要望

- 今後、大山崎町だけでの運営が難しいのであれば合併することが望ましいと考えます。(40

歳代,女性)

- 公共施設も町も他の町と合併し、施設が減ったとしても、他の施設を利用できるようにしてほしい。(30歳代,男性)

■公共施設の運営維持管理の工夫や効率化

- 週、2・3回利用していますが図書館をもっと充実して頂きたいです。昔から声を上げているのですが…。(60歳代,女性)
- 平日に利用することが働いていれればできない。月1回や何回かでもいいので、土曜日にあいていたら便利。(これは役場の話です。)(40歳代,男性)

■整備して欲しい公共施設

- 子育て施設の充実も望みます。(支援施設)(30歳代,女性)
- 子供がもっと遊べる所、(大きめの公園、ボール遊びが出来る程の)や図書館を充実させて欲しい。(40歳代,女性)

■町の上位計画策定見直し

- それ以前に、人口増加のための対策をとるべきだと思う。若い人や子育て世帯が、住みたいと思える対策をとってほしい。人口減少を食い止めなければ、何をしても意味がない。(40歳代,女性)
- どういう町づくりをするのか、はっきりさせないと金のムダ使いになると思います。(40歳代,男性)

■災害時を考慮した公共施設の整備や見直し

- 公域避難場所となる建物のメンテナンスは必要だと思います。(50歳以上,女性)
- 町民の命、財産を守るインフラの整備にお金をかけ、大規模災害(地震、洪水、土砂くずれ)対策、避難所設備の充実に向けて、中・長期計画を立て着実にすすめて下さい。(50歳以上,男性)

■公共施設の利用料の見直し

- 年金生活者が健康のために必要な場所の施設料が高い所を見直して欲しいです。体育館・ふるさとセンター(70歳以上,女性)
- 利用料の値上げについては、効果ができれば良いと思いますが、利用数の低下も考えると難しい問題だと思います。(40歳代,男性)

■施設総量や機能の現状維持

- 田舎の大山崎が好きです。発展する事は大事ですが、今(昔)の町も大事にして欲しいです。(18~29歳,女性)

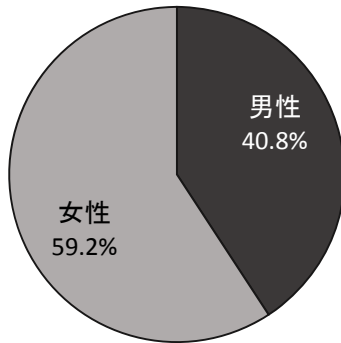
■公共施設に関する広報・情報提供の充実

- 費用を押さえる事も大事ではありますが、例えば公民館や集会所など利用をしやすいための工夫や安い金額で借りれる事を知らない人も多いと思います。大山崎の人以外にも利用して頂ける様になると少しではありますが、収益にもつながります。(40歳代,女性)

(3) 回答者の属性についての設問

【問8】あなたの性別を教えてください。(1つに○)

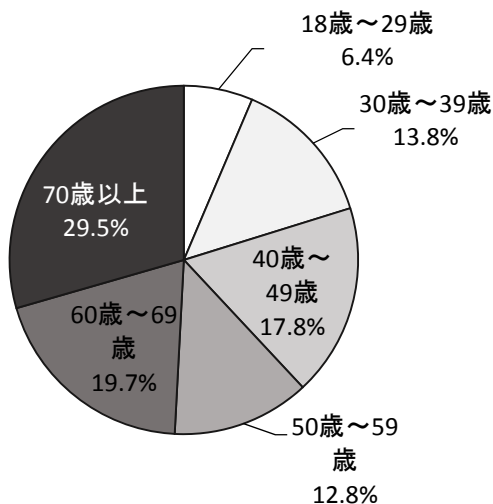
○男女比は、男性 40.8% (243 名)、女性 59.2% (353 名) で、やや女性の回答数が多い状況となっています。



選択肢	回答数	割合
1 男性	243	40.8%
2 女性	353	59.2%
有効回答数	596	100.0%
無回答	63	-
合計	659	-

【問9】あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

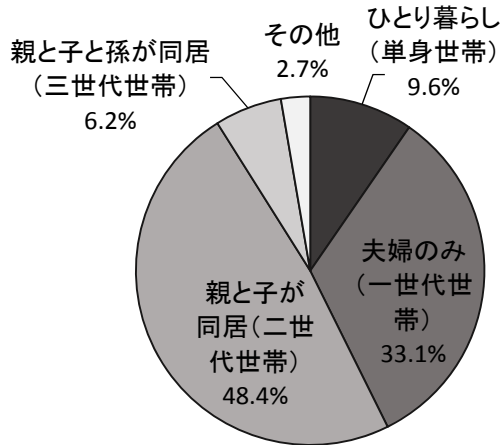
○年齢別の回答状況は、60歳代と70歳以上が全体の約49.2%でほぼ半数となり、次いで40歳代が17.8%、30歳代が13.8%、50歳代が12.8%です。10歳代～20歳代の回答数は全体の6.4%となっています。



選択肢	回答数	割合
1 18歳～29歳	38	6.4%
2 30歳～39歳	82	13.8%
3 40歳～49歳	106	17.8%
4 50歳～59歳	76	12.8%
5 60歳～69歳	117	19.7%
6 70歳以上	175	29.5%
有効回答数	594	100.0%
無回答	65	-
合計	659	-

【問10】あなたの家族構成を教えてください。(1つに○)

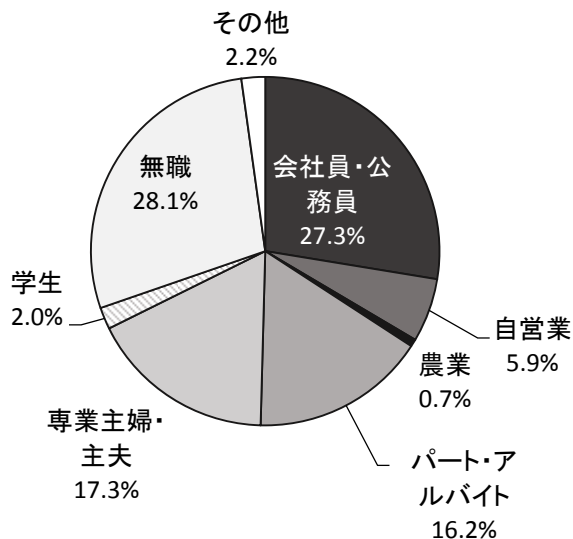
○家族構成は「親と子が同居(二世世代世帯)」(48.4%)が最も多く、次いで「夫婦のみ(一世世代世帯)」(33.1%)となっています。



選択肢	回答数	割合
1 ひとり暮らし(単身世帯)	57	9.6%
2 夫婦のみ(一世世代世帯)	196	33.1%
3 親と子が同居(二世世代世帯)	287	48.4%
4 親と子と孫が同居(三世世代世帯)	37	6.2%
5 その他	16	2.7%
有効回答数	593	100.0%
無回答	66	-
合計	659	-

【問11】あなたの職業を教えてください。(1つに○)

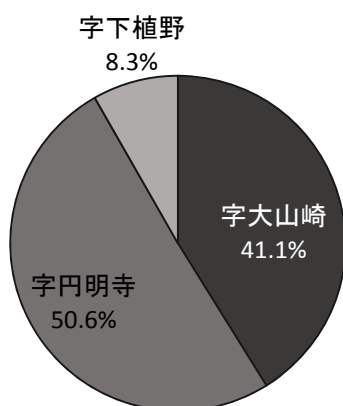
○回答者の職業は、「無職」(28.1%)が最も多く、次いで「会社員・公務員」(27.6%)となっています。



選択肢	回答数	割合
1 会社員・公務員	163	27.6%
2 自営業	35	5.9%
3 農業	4	0.7%
4 パート・アルバイト	96	16.2%
5 専業主婦・主夫	102	17.3%
6 学生	12	2.0%
7 無職	166	28.1%
8 その他	13	2.2%
有効回答数	591	100.0%
無回答	68	-
合計	659	-

【問 1 2】あなたの住んでいる地域を教えてください。(1つに○)

○字円明寺 (50.6%) が最も多く、次いで字大山崎 (41.1%)、字下植野 (8.3%) となっています。



選択肢	回答数	割合
1 字大山崎	244	41.1%
2 字円明寺	300	50.6%
3 字下植野	49	8.3%
有効回答数	593	100.0%
無回答	66	-
合計	659	-

3. 集計結果 (クロス集計)

(1) 公共建築物の整備のクロス集計 (問3)

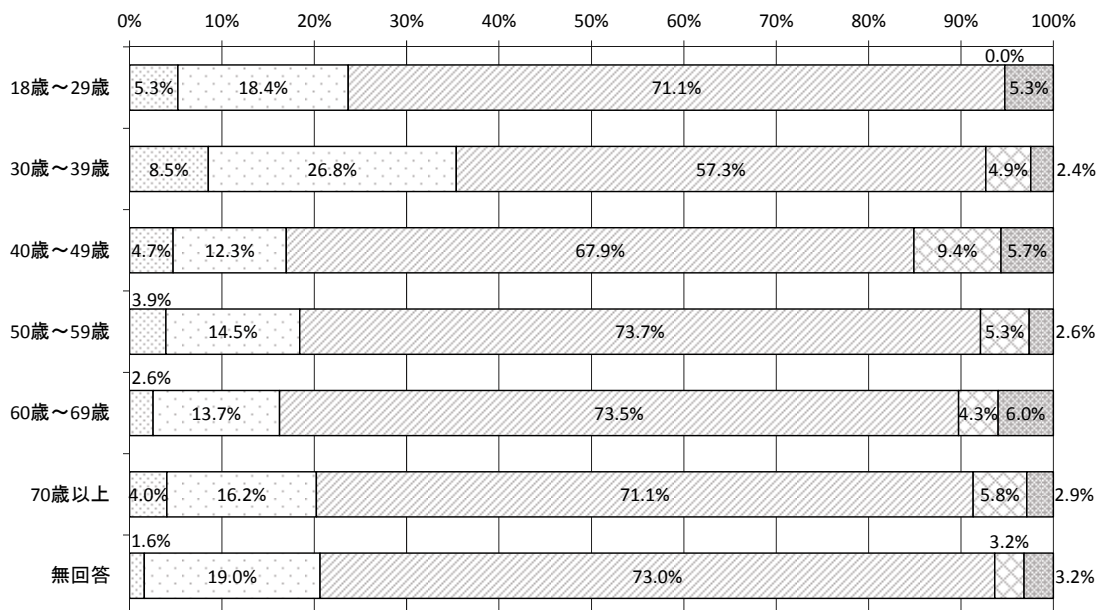
問3について、年代別・居住地域別に集計結果を整理します。

【問3】 将来的な見通しを踏まえて公共建築物の整備については、今後どのように進めていくべきだと思いますか。(1つに○)

1) 年代別

○将来的な見通しを踏まえた公共建築物の整備については、各年代ともに、「施設の必要性を見直し、ニーズや財政状況に見合った内容に減らす。」と回答した人が多い傾向にあり、次に「既存の施設を現状維持し、耐用年数が経過したものは同規模で建替える。」と回答しています。

選択肢	18歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳以上		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 施設はまだ不足しているので、今後も拡充する。	2	5.3%	7	8.5%	5	4.7%	3	3.9%	3	2.6%	7	4.0%	1	1.6%
2 既存の施設を現状維持し、耐用年数が経過したものは同規模で建替える。	7	18.4%	22	26.8%	13	12.3%	11	14.5%	16	13.7%	28	16.2%	12	19.0%
3 施設の必要性を見直し、ニーズや財政状況に見合った内容に減らす。	27	71.1%	47	57.3%	72	67.9%	56	73.7%	86	73.5%	123	71.1%	46	73.0%
4 施設の必要性は低いいため、大幅に減らす。	0	0.0%	4	4.9%	10	9.4%	4	5.3%	5	4.3%	10	5.8%	2	3.2%
5 その他	2	5.3%	2	2.4%	6	5.7%	2	2.6%	7	6.0%	5	2.9%	2	3.2%
有効回答数	38	100.0%	82	100.0%	106	100.0%	76	100.0%	117	100.0%	173	100.0%	63	100.0%
無回答	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	2	-	2	-
合計	38	-	82	-	106	-	76	-	117	-	175	-	65	-

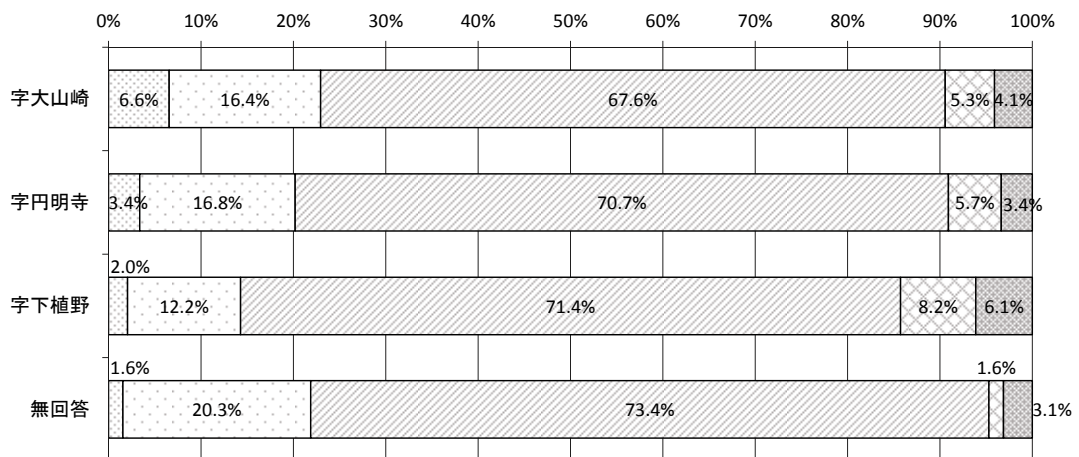


- 施設はまだ不足しているので、今後も拡充する。
- 既存の施設を現状維持し、耐用年数が経過したものは同規模で建替える。
- 施設の必要性を見直し、ニーズや財政状況に見合った内容に減らす。
- 施設の必要性は低いため、大幅に減らす。
- その他

2) 居住地域別

○将来的な見通しを踏まえた公共建築物の整備については、全ての居住地域で、「施設の必要性を見直し、ニーズや財政状況に見合った内容に減らす。」と回答した人が多い傾向にあり、次に「既存の施設を現状維持し、耐用年数が経過したものは同規模で建替える。」と回答しています。

選択肢	字大山崎		字円明寺		字下植野		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 施設はまだ不足しているので、今後も拡充する。	16	6.6%	10	3.4%	1	2.0%	1	1.6%
2 既存の施設を現状維持し、耐用年数が経過したものは同規模で建替える。	40	16.4%	50	16.8%	6	12.2%	13	20.3%
3 施設の必要性を見直し、ニーズや財政状況に見合った内容に減らす。	165	67.6%	210	70.7%	35	71.4%	47	73.4%
4 施設の必要性は低いいため、大幅に減らす。	13	5.3%	17	5.7%	4	8.2%	1	1.6%
5 その他	10	4.1%	10	3.4%	3	6.1%	2	3.1%
有効回答数	244	100.0%	297	100.0%	49	100.0%	64	100.0%
無回答	0	-	2	-	0	-	2	-
合計	244	-	299	-	49	-	66	-



- 施設はまだ不足しているので、今後も拡充する。
- 既存の施設を現状維持し、耐用年数が経過したものは同規模で建替える。
- 施設の必要性を見直し、ニーズや財政状況に見合った内容に減らす。
- 施設の必要性は低いいため、大幅に減らす。
- その他

(2) インフラ資産（道路、橋りょう、上下水道）の整備のクロス集計（問4）

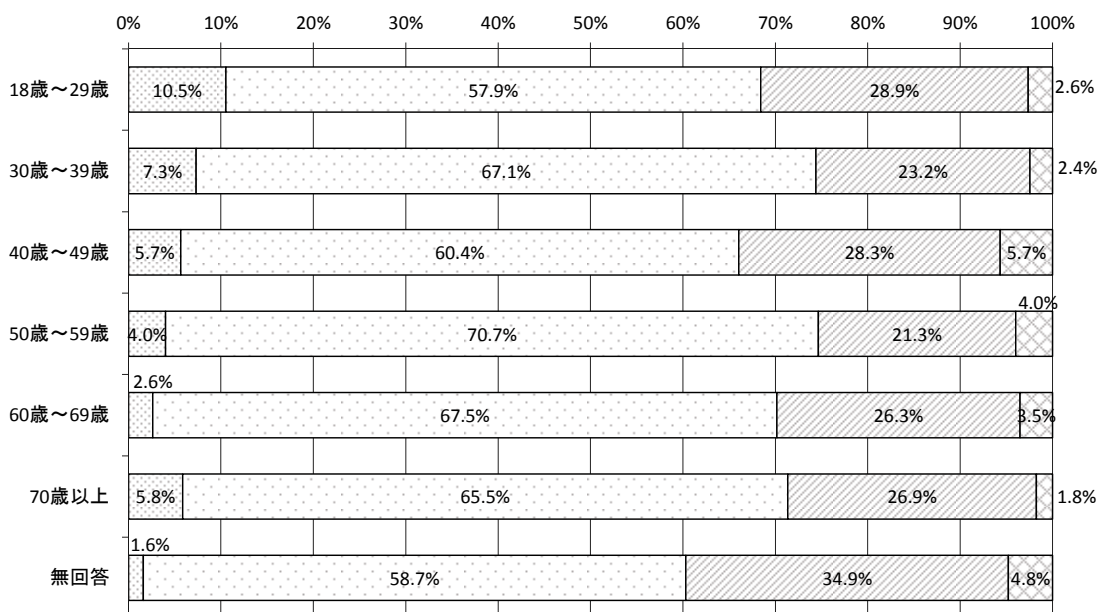
問4について、年代別・居住地域別に集計結果を整理します。

【問4】 将来的な見通しを踏まえてインフラ資産（道路、橋りょう、上下水道）の整備については、今後どのように進めていくべきだと思いますか。（1つに○）

1) 年代別

○将来的な見通しを踏まえたインフラ資産（道路、橋りょう、上下水道）の整備については、各年代ともに、「新たな整備は行わず、既存の施設をその時々ニーズにあわせて改修しながら利用する。（例：道路の拡幅を行う）」と回答した人が多い傾向にあり、次に「新たな整備は行わず、既存の施設の現状を維持しながら利用する。（例：道路のアスファルトの敷き替えを行う）」と回答しています。

選択肢	18歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳以上		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 インフラ資産はまだ不足しているので新設する。（例：新たな道路をつくる）	4	10.5%	6	7.3%	6	5.7%	3	4.0%	3	2.6%	10	5.8%	1	1.6%
2 新たな整備は行わず、既存の施設をその時々ニーズにあわせて改修しながら利用する。（例：道路の拡幅を行う）	22	57.9%	55	67.1%	64	60.4%	53	70.7%	77	67.5%	112	65.5%	37	58.7%
3 新たな整備は行わず、既存の施設の現状を維持しながら利用する。（例：道路のアスファルトの敷き替えを行う）	11	28.9%	19	23.2%	30	28.3%	16	21.3%	30	26.3%	46	26.9%	22	34.9%
4 その他	1	2.6%	2	2.4%	6	5.7%	3	4.0%	4	3.5%	3	1.8%	3	4.8%
有効回答数	38	100.0%	82	100.0%	106	100.0%	75	100.0%	114	100.0%	171	100.0%	63	100.0%
無回答	0	-	0	-	0	-	1	-	3	-	4	-	2	-
合計	38	-	82	-	106	-	76	-	117	-	175	-	65	-



インフラ資産はまだ不足しているので新設する。（例：新たな道路をつくる）

新たな整備は行わず、既存の施設をその時々ニーズにあわせて改修しながら利用する。（例：道路の拡幅を行う）

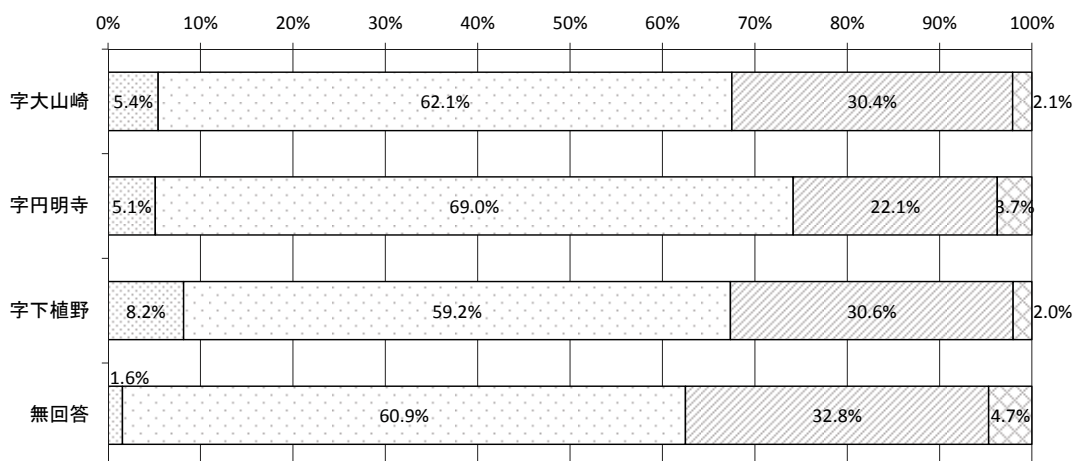
新たな整備は行わず、既存の施設の現状を維持しながら利用する。（例：道路のアスファルトの敷き替えを行う）

その他

2) 居住地域別

○将来的な見通しを踏まえたインフラ資産（道路、橋りょう、上下水道）の整備については、全ての居住地域で、「新たな整備は行わず、既存の施設をその時々ニーズにあわせて改修しながら利用する。」と回答した人が多い傾向にあり、次に「新たな整備は行わず、既存の施設の現状を維持しながら利用する。」と回答しています。

選択肢	字大山崎		字円明寺		字下植野		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 インフラ資産はまだ不足しているので新設する。	13	5.4%	15	5.1%	4	8.2%	1	1.6%
2 新たな整備は行わず、既存の施設をその時々ニーズにあわせて改修しながら利用する。	149	62.1%	203	69.0%	29	59.2%	39	60.9%
3 新たな整備は行わず、既存の施設の現状を維持しながら利用する。	73	30.4%	65	22.1%	15	30.6%	21	32.8%
4 その他	5	2.1%	11	3.7%	1	2.0%	3	4.7%
有効回答数	240	100.0%	294	100.0%	49	100.0%	64	100.0%
無回答	3	-	5	-	0	-	2	-
合計	243	-	299	-	49	-	66	-



- インフラ資産はまだ不足しているので新設する。
- 新たな整備は行わず、既存の施設をその時々ニーズにあわせて改修しながら利用する。
- 新たな整備は行わず、既存の施設の現状を維持しながら利用する。
- その他

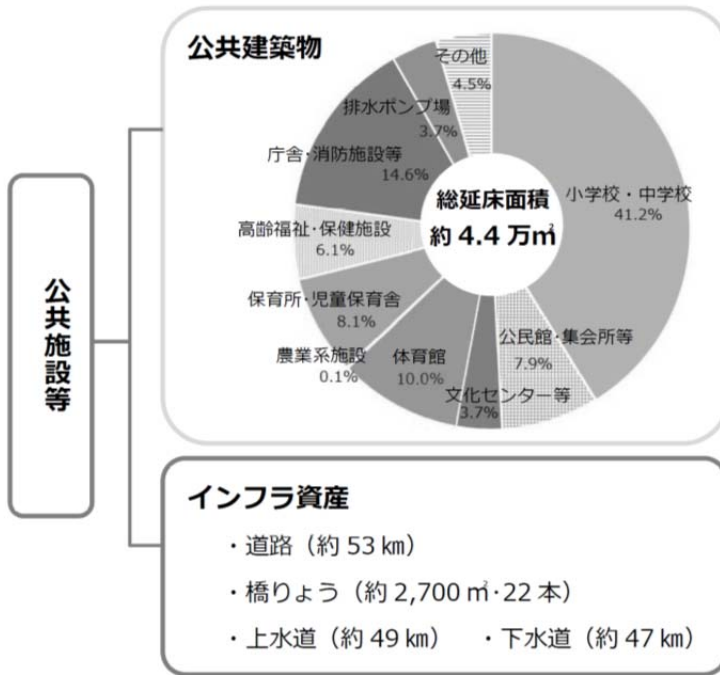
4. 資料 (アンケート調査配布資料)

※ アンケート回答前にお読みください。

大山崎町の公共施設をとりまく現状と課題

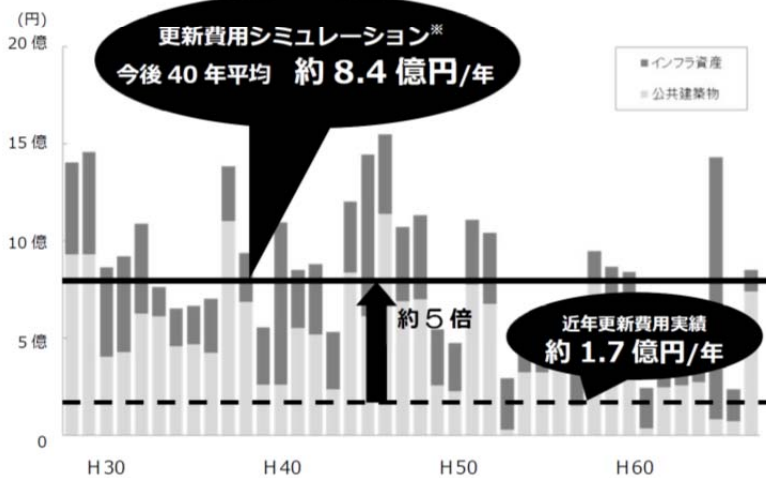
～公共施設等総合管理計画の策定が必要な背景～

■公共施設の種類と量



- 公共施設には公共建築物とインフラ資産があります。
- 大山崎町の公共建築物は約 5 割が築 30 年以上を経過しており、今後大規模改修や建替えが必要になることが予想されます。
- インフラ資産の耐用年数は一般に、道路舗装：15 年、橋りょう：60 年、上水道：40 年、下水道：50 年とされています。

■公共施設等の更新費用



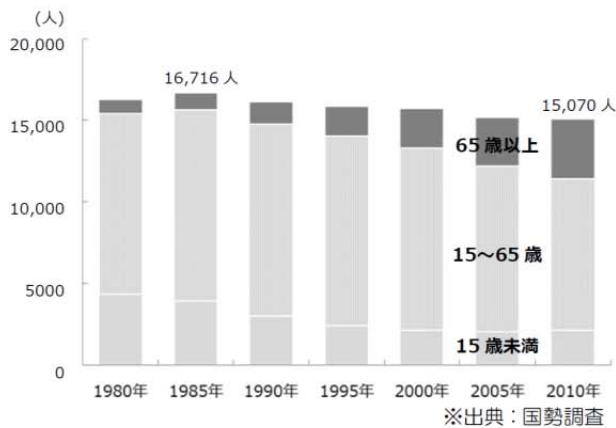
- 更新費用をシミュレーションすると、今あるすべての公共施設等を今後も維持していくためには、大規模修繕や建替えなどの更新費用が年平均約 8.4 億円かかると想定されます。
- これは過去 5 年間の更新にかかった費用平均のおよそ 5 倍です。

※総務省「公共施設等更新費用試算システム」により算出

公共建築物：建替周期を 60 年、大規模改修を建築後 30 年として、建築物の床面積にそれぞれ工事単価を乗じて算出しています。

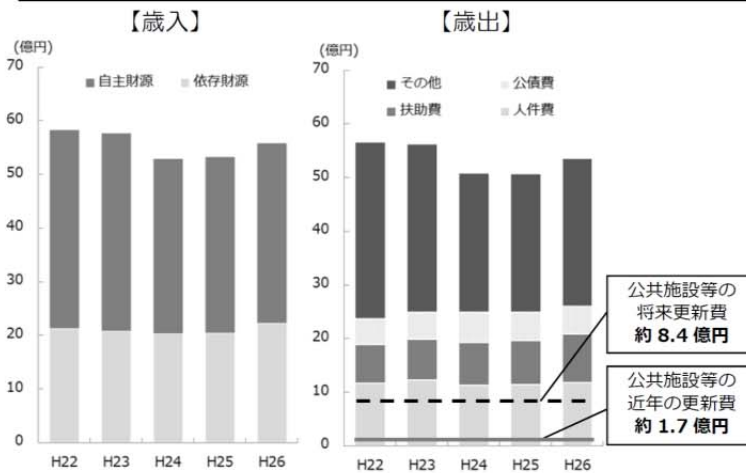
インフラ資産：道路の舗装のやり直しの年数を 15 年、橋りょうの架け替え年数を 60 年として、面積にそれぞれの工事単価を乗じて算出しています。上水道管の取り替えの年数を 40 年、下水道管の取り替えの年数を 50 年として、管延長にそれぞれの工事単価を乗じて算出しています。

■大山崎町の人口



- 大山崎町の人口は 1985 年の 16,716 人をピークに減少を続けています。
- 人口全体のうち 65 歳以上の占める割合が増え、15 歳未満の割合が減っています。
- 今後も人口減少・少子高齢化が進み、2040 年には 2010 年より約 2 割人口が減少すると推計されています。

■大山崎町の財政



- 近年の歳出入は平均約 55 億円で推移しています。公共施設等の更新費用はこれまでは 1 年あたり 1.7 億円でしたが、将来は 8.4 億円になると試算されています。
- 歳入では自主財源が減少傾向にあります。
- 歳出では扶助費が増加しています。
- 人口の減少により、今後歳入の増加は困難な状況です。

〈用語解説〉

自主財源…町が独自に調達できる財源
 依存財源…国や府に依存するかたちで調達する財源
 公債費…地方債の償還や利子の支払いに要する経費
 扶助費…社会保障制度に要する経費

公共施設等はわたしたちの生活を豊かにする大切な財産です。

しかし、今あるすべての公共施設等を維持していくには、今後 40 年間にわたり現状の約 5 倍の更新費用が必要になる見込みであり、人口が減少を続ける中で、財政的に大変厳しい状況です。限りある予算のなかで、将来にわたって適切な公共サービスの提供を行うためには、長期的な視点で公共施設の役割や量、管理運営方法を見直す必要があります。

全国の市町村では、これまでの維持管理の方法だけでなく、行政・地域・民間企業などを含めた多様な主体が連携を行いながら維持管理を行う方法などについても検討が進められています。

これから策定する「大山崎町公共施設等総合管理計画」は、公共施設等の将来のあり方に関する基本方針を定め、公共施設等を総合的かつ計画的に管理するために活用します。

※アンケート回答前に同封の資料「大山崎町の公共施設をとりまく現状と課題」をお読みください。

大山崎町の公共施設等のあり方に関する町民アンケート

質問は問1から問12までです。それぞれ該当する答えの番号に○をつけてください。

I. あなたの考える今後の公共建築物・インフラ資産のあり方についてお聞きします。

問1 大山崎町の人口は今後減少し、2040年には現在の約2割減となることが推定されています。人口減少とともに町財政も厳しくなっていくと想定されますが、あなたはこのことを知っていましたか。 【1つに○】

1. よく知っている 2. 少しは知っている 3. 聞いたことがある 4. ほとんど知らない 5. まったく知らない

問2 近い将来、町内の多くの老朽化した公共施設が大規模な改修や建て替えを行う時期を迎えますが、一方で自治体の財政は厳しく、すべての施設の更新をすることは困難な状況にあります。あなたはこのことを知っていましたか。 【1つに○】

1. よく知っている 2. 少しは知っている 3. 聞いたことがある 4. ほとんど知らない 5. まったく知らない

問3 将来的な見通しを踏まえて公共建築物の整備については、今後どのように進めていくべきだと思いますか。 【1つに○】

1. 施設はまだ不足しているので、今後も拡充する。
 2. 既存の施設を現状維持し、耐用年数が経過したものは同規模で建替える。
 3. 施設の必要性を見直し、ニーズや財政状況に見合った内容に減らす。
 4. 施設の必要性は低いため、大幅に減らす。
 5. その他 ()

問4 将来的な見通しを踏まえてインフラ資産（道路、橋りょう、上下水道）の整備については、今後どのように進めていくべきだと思いますか。 【1つに○】

1. インフラ資産はまだ不足しているので新設する。(例：新たな道路をつくる)
 2. 新たな整備は行わず、既存の施設をその時々ニーズにあわせて改修しながら利用する。
 (例：道路の拡幅を行う)
 3. 新たな整備は行わず、既存の施設の現状を維持しながら利用する。
 (例：道路のアスファルトの敷き替えを行う)
 4. その他 ()

問5 公共建築物・インフラ資産の更新費用の増大が予測される中で、更新費用の縮減のほかに、新たな取り組みを検討する必要があります。施設を維持するために実施すべきこととして、次に掲げる3つの方策についてどう考えますか。 【各々1つに○】

A. 施設の有料化や利用料の値上げを行う。

1. 積極的に実施すべき 2. どちらかといえば実施すべき 3. どちらかといえば実施すべきでない 4. 実施するべきでない 5. わからない

B. 施設の機能の複合化や統廃合を進める。

1. 積極的に実施すべき 2. どちらかといえば実施すべき 3. どちらかといえば実施すべきでない 4. 実施するべきでない 5. わからない

C. 古い施設であってもメンテナンスを行い、長寿命化を図る。

1. 積極的に実施すべき 2. どちらかといえば実施すべき 3. どちらかといえば実施すべきでない 4. 実施するべきでない 5. わからない

Ⅱ. あなたの公共建築物の利用状況についてお聞きします。

問6 あなたは次の公共建築物をどのくらい利用していますか。利用頻度を施設分類ごとに1つ選択してください。
また利用頻度について「3. ほとんど利用しない」、「4. 利用したことがない」と回答された施設分類については、その代表的な理由を1つ選択してください。

施設分類	施設名	利用頻度 【1つに〇】				利用しない理由 【1つに〇】				
		よく利用する (月1回以上)	時々利用する (年1回以上)	ほとんど利用しない	利用したことがない	施設の存在やサービス内容を知らない	利用する必要がない	施設、サービス、利用時間、料金などが不満	県や他市の施設を利用している	
市民文化系施設	① 集会施設	公民館、自治会館(円明寺ヶ丘団地、円明寺ヶ丘団地南)、集会所(下植野団地、下植野南、大山崎、下植野、鏡田)、谷田会館	1	2	3	4	1	2	3	4
	② 文化施設	大山崎町ふるさとセンター	1	2	3	4	1	2	3	4
スポーツ・レクリエーション系施設	③ スポーツ施設	大山崎町体育館	1	2	3	4	1	2	3	4
学校教育系施設	④ 学校	小学校(大山崎、第二大山崎) 大山崎中学校	1	2	3	4	1	2	3	4
子育て支援施設	⑤ 幼稚園・保育園	保育所(保育所、第2保育所、第3保育所)	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑥ 幼児・児童施設	留守家庭児童保育舎(なかよしクラブ、でっかいクラブ、ともだちクラブ)	1	2	3	4	1	2	3	4
保健・福祉施設	⑦ 高齢福祉施設	老人福祉センター(長寿苑) 地域福祉センター(なごみの郷)	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑧ 保健施設	大山崎町保健センター	1	2	3	4	1	2	3	4
その他	⑨ その他	JR山崎駅自転車等駐車場	1	2	3	4	1	2	3	4

※利用頻度で「3」「4」を選択した場合のみ回答

